



“よねやま”から広がる新しい世界 ⑭

お世話を買って出てみたら……



湯沢 R C
(第 2540 地区 秋田県)

カウンセラー
八田 順造 さん

クラブで初の米山奨学生

スーンちゃんは、湯沢ロータリークラブ（R C）が迎えた初めての米山奨学生です。秋田市から湯沢市までは電車で片道 1 時間半以上、本数も 1 時間に 1 本と少なく、これまでは、大学が集中する秋田市、または由利本荘市周辺のクラブが世話クラブを引き受けてくれていました。しかし、クラブが今年 10 月に創立 60 周年を迎えるにあたり、当クラブ会員で米山記念奨学会理事でもある伊藤壽々雄パストガバナーから、「われわれも世話クラブを経験しようじゃないか」との呼び掛けがあり、数年前から受け入れの雰囲気づくりを始め、2014 年 4 月、待ちに待った米山奨学生を迎えました。

私がカウンセラーを打診されたのは、「パーマ屋の八田さんなら、女の子の扱いに慣れておるだろう」という安易な理由から（笑）。もともと、わが家では米山奨学生、特にベトナム人に大変良い印象がありました。数年前、クラブに出張卓話に来てくれたゲン・ドゥック・フーン君という米山奨学生を、当時会長だった私が自宅に泊めたことがあります。娘たちとも意気投合し、深夜まで宴会が続きました。翌朝、誰もいないはずの台所から物音がし、妻が恐る恐るのぞくと、ゲン君が一人、昨晚の皿を洗っていたのです。妻は大感激し、以来、彼とも家族ぐるみの付き合いをしています。そんな経緯もあり、スーンちゃんはわが家の 3 人目の娘だと思って世話をしています。彼女の存在は娘や息子、孫にもいい刺激となっているようで、こんな出会いが生まれたのもロータリーに入ったおかげと、心から感謝しています。

世話クラブだって懸け橋の一つ

スーンちゃんは例会に出席するため、月に 1 回、大学を休まなければなりません。2 年間よく頑張ってくれました。当初は乗り物酔いで、毎回青い顔で電車から降りてきました。けれどもいつしか、「お父さん、今日は雪で真っ白だったよ」「田んぼの緑がきれいだった」と、車窓から見える秋田の風景を目を輝かせて話してくれるようになりました。湯沢 R C は男性ばかり 60 人のクラブなので、スーンちゃんが出席し、近況を報告してくれる例会は、会場に優しい顔が広がり、雰囲気や和やかになるのがわかります。スーンちゃんが風邪気味だとわかると、体調を気遣い、質問責めにするほどです。

湯沢 R C の歴史は古く、世話クラブの経験はなくとも米山への寄付はしてきたつもりです。しかし、今回初めて世話クラブを引き受けたことで、日本のロータリアンならば、もっともっと米山に関心を持たなければならぬと、そんな意見が飛び交うようになりました。

私たちはよく奨学生に「日本と母国との懸け橋になってほしい」と言いますが、世話クラブになったことで、私たち会員も奨学生とロータリー、ベトナムと日本との懸け橋の一つになれたのではないかな、と思います。長いようであつという間の 2 年間でした。これからも、スーンちゃんの夢を応援していきたいと思っています。



曲木家具の日本唯一の専門工房を見学

創立 60 周年を迎える湯沢ロータリークラブに、初めての米山奨学生がやってきました。秋田大学で学ぶベトナム出身のホアン・ティー・スーンさんは、往復 5 時間をかけて例会に参加し、会員や会員家族との交流を深めました。米山奨学生がクラブに来る。表面的にはただそれだけのことでしたが、お世話をする会員たちの内面には変化がもたらされたそうです。終わったばかりの 2 年間で振り返り、カウンセラーと奨学生が実感を語ってくれました。



米山学友
ホアン・ティー・スーン さん

出身：ベトナム
奨学期間：2014 - 16
学校名：秋田大学

資源リサイクルの技術者を目指して

ベトナムに来た日本製の二足歩行ロボット「^{アシ}MO」がゆっくり歩く姿を、幼い私は目をまん丸にして見つめていたそうです。以来、私の胸にはずっと日本への憧れがありました。しかし、高校生の時に父が病に倒れ、大学進学すら難しくなりました。父の代わりに母が昼も夜も働き、私は母の期待に応えたいと懸命に勉強して、留学の夢をかなえました。

私は化学が大好きで、現在、秋田大学で亜鉛の研究をしています。皆さんにはあまりなじみがないかもしれませんが、亜鉛は、鉄、アルミ、銅に次いで 4 番目に消費量が多い金属で、塗料や乾電池、医薬品などにも使われています。比較的安い金属ですが、精製には費用がかかります。私は、より効率良く精製できる技術を開発し、将来、資源リサイクル分野において国際的な技術者になりたいと願っています。

往復 5 時間、最高の世話クラブ

大学 3 年生の時に米山奨学生に選ばれました。湯沢 R C の例会に出席するため、2 年間、秋田市の自宅から往復 5 時間をかけて通いました。経営者や専門家の皆さんと話し、たくさんの知識を得ました。生まれて初めてのスキー、クラブの旅行にも参加させてもらい、^{まげき}曲木家具の工房見学など、普通の留学生では体験できない、たくさんの思い出をいただきました。

特に忘れられないのは、今年の私の誕生日。その日はちょうど例会日で、皆さんが突然バースデイソングを歌い出して、私の誕生日を祝ってくれたのです。思ってもみなかった出来事に、胸がいっぱいになりました。こんなに温かい世話クラブは、他のどこにもないと思います。カウンセラーの八田さんは、私を家族のように受け入れてくれました。私が風邪を引いた時、八田さんのお嬢さんが看病に来てくれましたね。

4 月から私は秋田大学大学院に進学します。これからも頑張ります。見守っていてください。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業、または「よねやまだより」についてのご意見を、当奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

E メール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



第 2720 地区米山学友会が誕生！

第 2720 地区（大分・熊本）に米山学友会が創立され、2 月 7 日に創立総会が開催されました。同地区の学友、奨学生 16 人が出席し、その後の懇親会にはゲストを含め 100 人超の盛会となりました。初代会長の全紅女さん（2005 - 07 / 別府東 R C）は「社会や地域に貢献できる活動をしてまいります。1 年後の総会で素晴らしい報告ができるよう、皆で力を合わせて一生懸命頑張ります」と述べ、創立に尽力したロータリアンたちも感無量の面持ちで見守りました。九州はこれで、第 2700 地区（福岡・佐賀・長崎）、第 2730 地区（宮崎・鹿児島）、第 2740 地区（佐賀・長崎）と合わせ、4 地区全てに学友会が存在することとなりました。



喜びと意気込みをポーズで表す学友たち